

## 少林寺拳法創始70周年記念「全自衛隊大会」開催！

2017年2月4日（土）、航空自衛隊入間基地において、「第42回全自衛隊少林寺拳法大会」が航空自衛隊入間基地司令（中原茂樹空将補）を大会会長として開催されました。本大会には、宗由貴総裁、川島少林寺拳法連盟会長、三谷直人中部航空方面隊司令官を始め多くのご来賓の方々にご臨席を仰ぎ、15所属の拳士約120名が北海道～九州の全国各地から参加しました。

太鼓に続き、中澤武志実行委員長の開会宣言、岩田清文全自衛隊連盟会長の挨拶が行われ、来賓として宗総裁、川島会長の祝辞をいただきました。

約2時間にわたる競技の後、「川島会長による技術講習会」が行われました。立合評価法につながる動きを中心として、「崩し・落とし・外し」の基本的な動き等、普段の修練に反映できる技を、他所属との拳士交流も含めて、熱心にかつ楽しく行われました。引き続いて、航空芦屋所属拳士による「錫杖演武」、防衛大学校による「女子団体演武」がアトラクションとして披露されました。

閉会式では、表彰式に続き、部門の最優秀演武が披露されました。最後に山口直人全自衛隊連盟理事長によって、関係各位に対する謝辞が述べられ、大会が盛会の内に終了しました。

同日夜に行われたレセプションでは、今大会で役を退かれる、児玉源太郎相談役及び武田安子協力者に、数十年に亘るご功績に対する感謝状が川島連盟会長及び岩田会長から、またそれぞれの方に宗総裁から花束が贈呈され、参加者一同から深い感謝の念が示されました。





